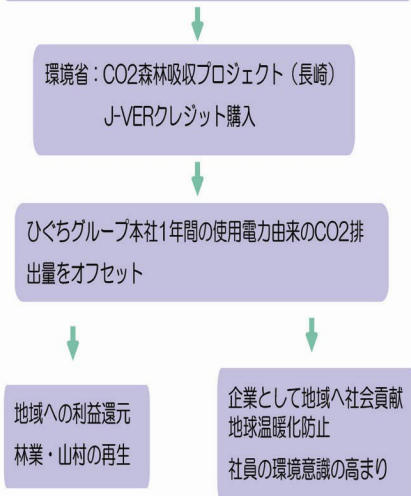


長崎で初めての、環境省 J-VER 制度を活用したカーボンオフセット活動

ひぐちグループでは、本社社屋の平成 24 年度年間電力使用量 119,096kwh に由来する CO₂ 排出量 59.91 トンを、同クレジット 60 トンを以って、全量カーボン・オフセット致します。

ひぐちグループの環境に対する自主的活動



※ J-VER 制度

環境省が認定する、国内のみで流通が可能なクレジット

ひぐちグループでは、日本国内における地球温暖化対策法の施行後、環境自主行動計画を 2011 年に作成し、特にパチンコホールにおけるエネルギー排出量の数値目標を設定し、環境関連法規の遵守、省エネルギー活動の推進持続可能な環境対策を、組織的に進める等の行動方針を決めて取組んでいます。

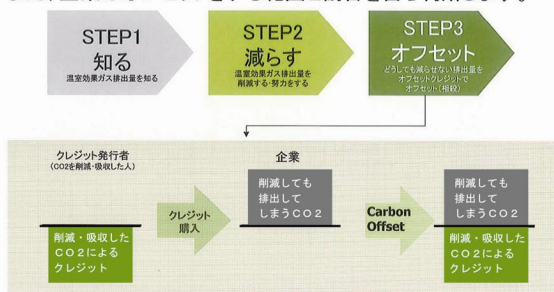
今回、更にその取り組みを一步進め、環境省が推進する J-VER 制度で生み出された『長崎の森林による CO₂ 吸収クレジット（森林による CO₂ 吸収量 60 t-CO₂）』を購入し、削減余地が少ない本社社屋で使用する一年間の電力使用由来の CO₂ 排出量を見える化して、カーボンオフセットを行いました。

今回、開始したひぐちグループの取り組みは、長崎の森林で創出されたクレジットを活用し、地球温暖化防止や地域貢献活動と同じ意味で、地域の森林保全に貢献するという 2 重のベネフィットを考えた、長崎で初めての J-VER クレジットを活用したカーボンオフセットの取り組みです。

このような活動を通じ、環境意識を高めて、後世に負の遺産を残さないように、ひぐちグループの一人一人が環境への負荷低減に自主的、積極的に取組むことで、社会貢献活動を義務ではなく、機会としてとらえ行動し、企業の成長と、社会への貢献が相互に共生しあう共益の創造に繋げていきたいと思ひます。

カーボン・オフセットとは

- カーボン・オフセットは、知る・減らす・オフセットの3ステップで行います。
- また、企業はオフセットをする範囲と割合を自ら判断します。



カーボンオフセット = 二酸化炭素の埋め合わせ（相殺）

出してしまった CO₂ を、別の方法で差引ゼロに近づけること

*オフセット

削減しきれない CO₂ を、温室効果ガス削減・吸収の取り組みに資金を提供する（クレジットを購入すること）でオフセット（埋め合わせ）します。

*クレジット

再生可能エネルギーの導入や、森林吸収量を増やす取り組みなどにより実現できた CO₂ 削減・吸収量のこと、クレジットを購入することで、自らの CO₂ 削減量とみなすことが出来る。